

【記載例】

(別添)

造林計画書

(造林者) 住所：〇〇市××町字□□12

氏名：林野 太郎

1 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積 (A + B + C + D)	3.30ha
人工造林による面積 (A + B)	—ha
植栽による面積 (A)	—ha
人工播種による面積 (B)	—ha
天然更新による面積 (C + D)	3.30ha
ぼう芽更新による面積 (C)	1.10ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・ その他 ( )・なし
天然下種更新による面積 (D)	2.20ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・ その他 ( )・なし

主伐の場合、伐採面積と造林面積が一致

皆伐の場合：伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して2年以内  
択伐の場合：伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年を超えない期間

樹種ごとに記載

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数	作業委託先
人工造林 (植栽・人工播種)			ha	本	
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日	その他広葉樹 クヌギ	2.20 ha 1.10 ha		
5年後において 適確な更新が なされない場合	令和12年4月1日 ～ 令和13年3月31日	その他広葉樹	3.30 ha	※9,900本	

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年以内  
造林の方法別に記載

5年後に天然更新が完了していない場合その時点から2年以内に造林する

※天然更新する立木本数×面積  
(例) 3,000本×3.30ha=9,900本

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

(例) 伐採後宅地造成予定 令和〇年×月予定

2 備考

--

## 注意事項

- 1 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 2 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において
  - ・植栽によらなければ適確な更新が困難な森林 又は
  - ・木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち特に効率的な施業が可能な森林の区域内にあつて、植栽による更新を行う森林として定められているものの伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 3 造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 4 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積、樹種別の植栽本数及び鳥獣害対策を記載すること。
- 5 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。